

れんこんの植え付けが始まりました

令和6年4月30日

暖かい春の陽気が続くようになった4月上旬、当事業の換地区の豊川北部工区にて宇城市の特産のひとつであるれんこんの植え付け作業が始まりました。

2～3メートルおきに立てられたポールを基準に種れんこんを等間隔で植え付けていきます。植え付けられたれんこんは節と節の間の部分から横に新たな芽が出て増えていきます。植え付けが終わったあとは水面の浮き草や、水中に生える水草や藻、アブラムシなどの害虫との戦いになります。

この日植え付けられたれんこんは3～4か月後の7月下旬から8月上旬に収穫となり、専用のポンプから噴射される水圧を利用して水中の泥を掘りながら収穫していきます。れんこんは水分量が非常に重要な野菜。水分がなくなると固く筋っぽく、食感が悪くなるので取り置いて貯蔵ができません。収穫したら次の日には出荷されます。夏に収穫されるれんこんは瑞々しく柔らかいのが特徴。冬に収穫されるれんこんは夏より水分が少ない代わりに旨味が凝縮され甘みも増します。

水の管理が重要なれんこんは、換地と共に進められる水路整備に期待しているとの声をいただきました。今後も関係者の皆様と信頼関係を築き、連携して事業推進に尽力してまいります！



植え付けを待つ種れんこん



種れんこんを等間隔に並べた後、土に埋めていきます



隣の畑では明日植え付ける
種れんこんを収穫していました